

## 課題

- 障害者サービスの未実施地域が多い。
- 公立図書館などの障害者サービスの充実が必要。
- 障害者サービスの未実施地域には、障害者サービスについての研修のノウハウが少ない。

## 事業のねらい

- ①全国の図書館の障害者サービスの底上げを図るため、都道府県立図書館職員を中心に、図書館の障害者サービスや研修のノウハウを習得してもらう。
- ②全国の図書館職員に基本的な障害者サービスを知ってもらい、具体的なサービス進展に結び付ける。

図書館の障害者サービスの充実による、障害者を含む図書館利用に障害のある人々への情報提供の推進

## 実施内容

### 【研修事業】

①都道府県立・政令指定都市立図書館の職員を中心に、合わせて市町村立図書館職員を対象に、障害者サービスの基本から実務に活かせる具体的内容までの講義を行った。

### 【研修画像・資料の配布】

②次年度以降の研修に使用できるよう、研修映像・資料をDVDなどで都道府県立図書館、政令指定都市立図書館に配布。

### ①研修事業

障害者サービスの基本理念から、具体的なサービスの方法、事例をあげた講義の実施。

全日程参加者は、様々な地域の図書館が入ったグループに分かれて討議及び発表を実施。

障害者サービスの未実施地域が多い地方の図書館も参加しやすいよう、オンライン形式を中心に実施。

### ②研修画像・資料の配布

67館(都道府県立図書館47館、政令指定都市立図書館20館)に配布(令和3年3月3日発送)。

研修で使用した画像・資料のほか、受講生からの質問が多かった内容についての講義を追加。

配布の研修映像には、聴覚障害者も理解できるよう字幕を用意。

研修資料には、視覚障害者等も理解できるよう図表・写真に説明を付けたテキストデータも用意。

## 成果

### ○障害者サービスについての理解の向上

受講生の質疑から、障害者サービスについてあまり知識やノウハウがない方も参加していることが伺えたが、チェックリストの結果より多くのかたが障害者サービスについての理解を深められたことが見て取れた。

アンケートからは、以下のような回答が多数寄せられ、今後のサービスの進展に結び付くであろうことが予想される。

・他館の状況を知ることができ、サービスの方法や課題、解決策などを教えていただいた。

・グループワークで、情報共有ができたことで自館のサービスに生かせることを多く学べた。

・県立図書館という立場から、市町村図書館への支援や役割分担など今まで見ていなかった課題を意識できるようになった。

・先進館の取り組みだけでなく、同じような規模・サービス内容の図書館での懸案について知ることができとても参考になった。

### ○講義映像や講義資料の配布

多くの受講生より講義映像及び講義資料を各図書館にて活用したい旨の発言もあり、今後配布した資料を生かしての障害者サービスの進展が期待される。